1. **午後の部「ぼくは写真で世界とつながる」**

映画の感想

* + 写真一枚で、心も世界も繋がることが出来るんだと感動しました。地元に住みながら、一度も足を運ぶ事の無かった「美ら海水族館」を、写真で体感する事が出来ました。私自身も、ウソやパニック障害で、中々人の輪に飛び込む事が出来ませんが、心から心への架け橋を体感しました。DVDでもっと広められたらと思いました。（会員　利用者）
	+ 我が家にも祐ちゃん（２名）がいます。どこかで、またお逢いできたらと思います。（一般ご来場）
	+ 心が洗われる写真でした。大変良かった！　日頃の忙しさから開放され、楽しいひと時を過ごせました。有難うございます。（療ねヘルパー）
	+ 祐二君の写真がとても素敵でした。私も沖縄に行きたい！知り合いと旅行を計画しようかな？（会員　利用者）
	+ 自分の兄姉の小さい頃の思いを、改めて尋ねてみたくなりました。地域や社会との繋がりを、もっと、親子共々、本人の生きがいを考えてあげなければと思いました。（会員　利用者家族）
	+ 映画では、お母さんやお兄さんの言葉から、家族や周りの人々の大切さ、ネットワークの大切さを、改めて思いました。映画後のお話では、祐二君の成長の凄さ、”人はいつでも、機会が与えられたら成長できるのだ！”と気づかさせられました。また、私達の、言葉かけや考え方が、パニック誘発や行動の邪魔をすることがあると、考えさせられました。（沼田三枝子）
	+ 自閉症という障害を抱えていても、カメラ、写真を用いて自分の世界をつくり表現し、自分自身の可能性を広げている姿に感動しました。家族や周囲の方々が、祐二君の可能性を広げるために、理解して、色々な支援しているのも素晴らしいと感じました。（療ねヘルパー）
	+ 普段、映画を見る機会があまり無いので、今日は見られて良かったです。”普通に生きる”も見てみたいです。祐二君にも会えて嬉しかったし、彼の撮る写真が、何よりもキレイで感動しました。私も写真を撮るので、祐二君みたいな写真を撮りたいです。（療ねヘルパー）
	+ 祐二君は、人から褒められようなどとは思わず、自分の思った瞬間にシャッターを押しているのだから、余計、心に入っていくのだろうと思います。（療ねヘルパー）
	+ 障害のある我が子の可能性を信じたいと改めて思い、母として「もっともっと前向きに！」と思いました。ありがとうございます。（一般ご来場）

○　　祐二さんを、とても丁寧に暖かく描いていると思います。周りの人がみんな優しいのは、彼が、みんなを優しくさせているのだという事が良くわかります。お兄さんのインタビューが印象的でした。助けられているのは私達だと痛感しました。ちはるさんの歌がとても心に響き、ナレーションにも優しさが溢れていたと思います。（一般ご来場）

○　　中３自閉症の男の子がいます。自閉症の特性を良く捉えられていて、お母さんのお話や字幕に、「わかる～」という場面が沢山出てきて、自分の子と重ねて見させて頂きました。我が家にも、２才上の兄がいて、祐二君のお兄さんの話が興味深かったです。小さい頃からの、心境の変化や葛藤を、よく話してくれたと感動しました。家の長男にも観て欲しいと思いました。モニターツアーに参加させて欲しいと思いました。関わられた方々の温かさを感じ、心がホッコリしました。有難うございました。（一般ご来場）

* + 祐ちゃんは、素晴らしい感性を持っていますね。地元の京都でも上映してください。　沖縄旅行や、他のお母様の兄弟の話が聞けて良かったです。我が家の子供も自閉症ですが、同じような所作もずいぶん見られ、よく判ります。写真展を開くようになるなんて凄いですね。また、親から離れた一人旅をサポートして貰えるなんて羨ましいです。こういうシステムを、もっと沢山の障害者達が体験できる様になればと思います。この映画は、一般の方たちにも見て貰えると、自閉症の理解に繋がると思いました。（無記名）
	+ 人との出逢いが”すごく良い実を結んでいるな”と思いました。どの写真も凄く素敵で感動しました。中でも、写っている人の親が、全部笑顔で、こちらまで笑顔になっていました。心が暖かくなる様な内容でしたが、ご家族の苦悩や葛藤が、より自分の中にストレートに入ってきた気がします。凄く素敵な映画でした。（生活介護施設職員）
	+ ほのぼのとした、後味の良い映画でした。家族のお話（特にお兄さん）が、いっぱいあったのがとても良かった。少し我が侭なことを言わせて頂ければ、祐二君の状況を説明した、テロップの字が見えにくく、スピードも早かったので、考えて頂けると嬉しいかなと思いました。あまり自閉症の方と接点の無い私には、テロップの説明がないと理解できないので必要なのですが、読みきれなかったのでチョッとモヤモヤしてしまいました。（生活介護施設職員）
	+ いろいろな状況の中で、生きていく人達が、皆平等に生活してゆける世の中であってほしいと思います。（無記名）
	+ 素敵な映画でしたね。午後に仕事があったので、最後まで見ることができなかったのが残念でした。素敵な写真に感動しました。写真集がでている様でしたら購入したいと思います。米田さんの周りには、家族のインタビューに、共感を覚える方や力づけられる方など、理解者が何人もいるのだろうなと感じました。気づけば笑って観ていました。（療ねヘルパー）
	+ 祐二君の病気との出逢い（気づき）、友達との関わり合いなど、お兄さんの話が印象的でした。また、全体的に明るく作られている所が素晴らしかった。（療ねドライバー）
	+ ご本人や、ご家族の思いが本当によく伝わってくる映画でした。（療ねヘルパー）
	+ 確かに素晴らしいカメラマン！！　前作同様、色々な思いを重ねられる映画！！　有難うございました。（一般ご来場）

○　　あまり”自閉症”を感じませんでした。ぶっきらぼうなだけ？！　ポスターを作っていたさとみさん？とても素敵な方ですね。祐二さん本人にもお目にかかれて良かったです。支えている皆さんも、おおらかで良い人ばかり。人に恵まれていますね！（一般ご来場）

○　　貞末さんらしい、心が豊かになる仕上がりになっていて、感激しました。祐二君の写真が本当に素敵です。それから、先生のお話、重たい課題でしたが、取り上げられるべき視点でしたね。まやちゃん、頑張って！主催者の方々に、今日の機会を与えていただいたこと感謝しております。（監督　知人）

* + 一枚一枚の写真に、本当に見とれました。写真に沢山の思いが込められているようでした。お母様、お兄ちゃん、おばあちゃんの、祐二君との距離のとり方が印象的でした。サプライズ登場の、担任の先生も仰っていた様に、勝手に社会に枠を作り、あてはめて、外れた人に病気のレッテルを貼ることを止めてしまえば、きっと、自分自身も楽になるのだろうなと思ってみたりしました。祐二君の幼少期が、とても可愛らしかったですね。（一般ご来場）
	+ 自分を表現したり、「つながる」手段や、力をつけることの大切さを、改めて感じました。そして、それを守るというか、環境を整えていくことが、周りの人間の役割とも感じました。様々なサポートが必要な人でも、行きたい所に旅することが出来るシステムは欲しいですね。（無記名）
	+ 祐二君の表情が、良く捉えられていて、印象的で、しみじみ”良い映画だなあ”と思いながら観ていました。祐二君を「生涯の宿敵」と呼ぶお兄ちゃんに”ホロリ”。(無記名)
	+ 私の息子も自閉症です。人は他の人と比べ、少し変わっているだけで”障害者”という枠にはめて差別してしまいがちですが、少しだけ他の人と変わっているだけで、何ら”人としての価値や素晴らしさ”は変わらず、人によってはより優れていると思います。正に、祐二さんの素晴らしい光り輝く才能は、健常な人を遥かに超えたものだと思います。また、周りの方々も素晴らしく、本当に恵まれていると思います。世の中には、もっと障害が重く、辛い思いをしている方々が沢山います。祐二さんを通して、障害者の素晴らしさを知ってもらい、本当の意味での”心のバリアフリー”が実現することを願っています。（一般ご来場）
	+ 我家の息子は自閉症の２５歳。祐ちゃんと似ています。毎晩泣いて、パニックを起こしていた幼少時代を経て、今は面白い息子になりました。悩みながら、障害のある小さな子を育てる若いお母さんの力になりたいと常々思っていて、ロンドで働かせて頂き、療育センターに祭りを出し接点を見つけています。やっと余裕が出る歳になりました。沖縄にも来年行こうと思います。祐ちゃんの写真のアングルは、ステキ！でした。（無記名）
	+ 祐二さんの写真は本当に魅力的です。自然を感じ取る力、羨ましいと思いました。お母さんの言葉を聞き、当事者や家族だけの事ではなく、私達がどの様に社会を変えて行くべきかを考えなければならないことだと思いました。お兄さんの「気が楽になった」との言葉、兄弟としての気持ちが本当に良く判りました。皆が暮らしやすい社会を作る重要性が、非常に判り易く伝わる映画です。これから自主上映を考えます。（一般ご来場）
	+ 祐二君の写真を、凄い会場で、大画面で見られて、京都から来て本当に良かった！！

　　　祐二君の人間性を、たった３日で見抜いた貞末さんの人間力に脱帽しました。（私が３０年かかった観察力を持っておられるね）一番大変だったのは、山村さんだったのでしょうね。祐二君と、中畑さんと、障害も年齢も違う２人のサポート見事ですね。沖縄を経験したことにより、何段もステップアップしました。多くの自閉症の方々も、祐二君の様な機会が持てることが願いです。人に守られて、人を守って。。。祐二君の映画、写真が更に広がることが私の願いです。（元　担任教師）

* + この様な、素晴らしい会場で上映会が開催出来、また、そこに参加させて頂いて嬉しいです。これからも、より多くの人に見て頂き、”生きる事を楽しく感じていただけるように”願っています。（米田千鶴）